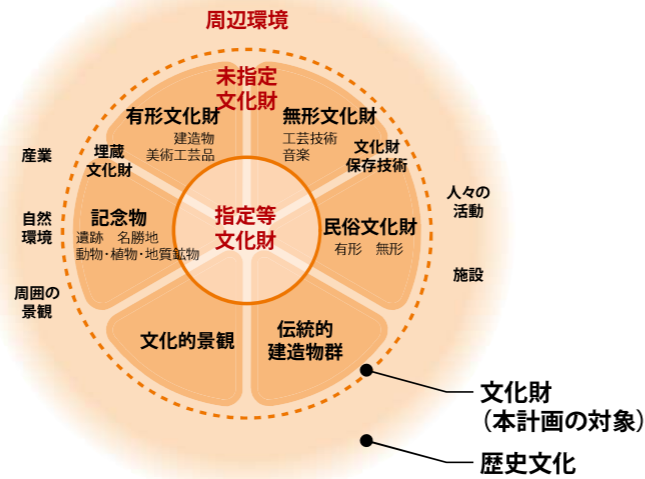


● **本計画の対象（文化財）**

本計画では、文化財保護法や条例上の指定・登録の有無に関わらず、市域に広がる歴史的・文化的・自然的な資源を“本計画で対象とする文化財”とします。

文化財は、周囲の景観、文化財を支える人々の活動や施設、産業等の「文化財を取り巻く周辺環境」と一体となっこそ、その価値を高めることができます。「文化財」と「文化財を取り巻く周辺環境」の有機的な結びつきにより生み出される総体を「歴史文化」と定義し、文化財の保存・活用を通して、未来に継承していくことを目指します。

181 件の指定等文化財に加えて、2,400 件の未指定文化財を把握しています。



● **指定等文化財の件数**

文化財種別		国指定等	県指定	市指定	国登録	合計
有形文化財	建造物	0	5	11	29	45
	美術					
	絵画	1	2	11	0	14
	彫刻	2	7	4	0	13
	工芸品	0	1	7	0	8
	書跡・典籍	0	0	0	0	0
	古文書	0	0	25	0	25
	考古資料	0	2	4	0	6
歴史資料	0	1	17	0	18	
無形文化財	0	0	0	0	0	
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	0	4	0	4
	無形の民俗文化財	1	2	4	0	7
記念物	遺跡（史跡）	3	1	11	0	15
	名勝地	0	0	0	0	0
	動物・植物・地質鉱物（天然記念物）	1	4	21	0	26
文化的景観	0	0	0	0	0	
伝統的建造物群	0	0	0	0	0	
合計		8	25	119		
				152	29	181

※令和7年（2025）8月末現在

● **主な関連制度**

**小田原ゆかりの優れた建造物**  
市内にある建築技術や意匠等の優れた、著名人にゆかりのある建造物として、4 件の建造物を認定しています。

**日本遺産 旅人たちの足跡残る悠久の石畳道**  
—箱根八里で巡る遙かな江戸の旅路—  
小田原宿は箱根八里の東の起点であり、江戸を発った旅人が初めて目にする城下町で、箱根越えを控え、にぎわいをみせていました。小田城跡、かまぼこ通りなどが構成文化財となっています。

**箱根ジオパーク**  
箱根火山を中心として、神奈川県西部の 2 市 3 町の区域で構成されています。ジオパークを特色づけるジオサイトとして、市内では、早川石丁場群など 7 箇所が選定されています。

**100 年フード**  
地域で世代を超えて受け継がれてきた食文化の継承を目指す制度で、小田原蒲鉾、曾我の梅干しが認定されています。

● **保存・活用の推進体制**

小田原市では、所有者および行政に加えて、市民等や専門家が、それぞれが主体的に取り組み、また、連携、協働することで、文化財の保存・活用の取組を推進します。

市内には、文化財の調査・研究、保存・活用に携わる団体、文化財を守る地域の人々や有志、観光に活用する事例などが多く存在しています。そうした地域のプレイヤーが有機的に繋がり、場合によっては連絡組織を設け、行政も加わり取り組んでいることが小田原の強みです。



# 小田原市文化財保存活用地域計画 概要版

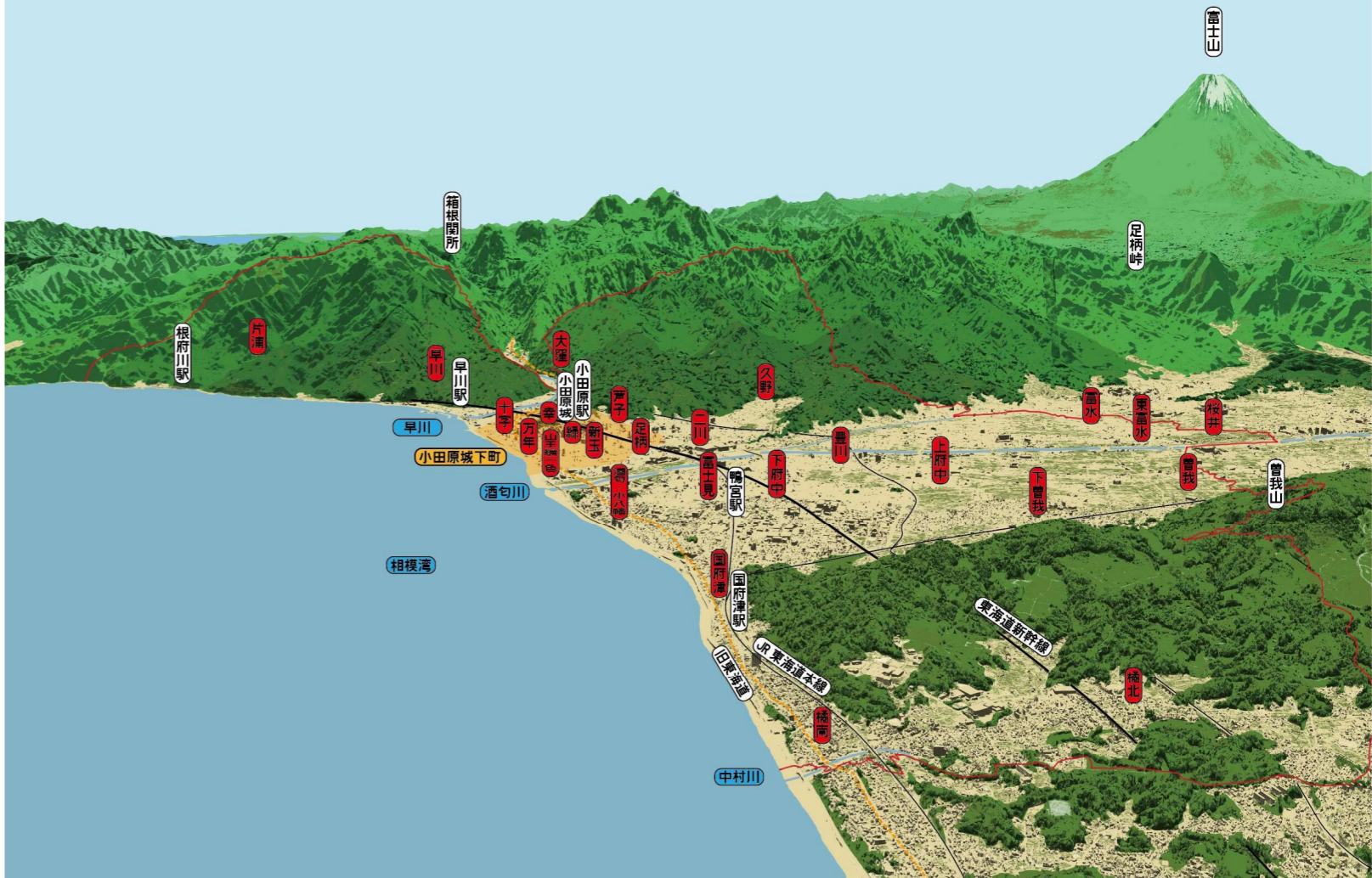
小田原には、古代から現代に至るまで営まれてきた人々の活動や暮らしの中で作り出され、また育まれた、様々な有形・無形の文化財が存在しています。こうした文化財は小田原の歴史や文化を今に伝える市民の共有財産であり、本市の歴史や文化を知るうえで欠かせないものです。

本市の歴史文化と文化財がもつ価値と魅力を分かりやすく整理し、市民のほか本市の歴史文化に興味をお持ちの全ての人に向けて発信・共有するとともに、本市に所在する文化財について市民総がかりの総合的な保存・活用を進めるため、この方針を示すマスタープランとそれを具体化するアクションプランとして、文化財保護法第 183 条の 3 第 1 項の規定に基づき「小田原市文化財保存活用地域計画」を策定しました。

[計画期間] 令和 8 年度（2026）から令和 18 年度（2036）までの 11 年間（令和 7 年 12 月文化庁認定）

小田原市の歴史文化の特性

- 1 山野河海が生んだ多様な歴史文化**  
—自然の恵みとそれを活かす人々—  
市域には、箱根に連なる山々、足柄平野と中央を流れる酒匂川、相模湾などからなる変化に富んだ地形があります。こうした自然環境を活かして人々は多様な歴史文化を重ねてきました。
- 2 人や物の往来により生まれた歴史文化**  
—街道が育んだ人々の交流と発展—  
交通上の難所である箱根山は、山越えをする人々をこの地に留めました。古くから東西交流の場であり、近代以降は鉄道の要衝地となりました。
- 3 日本史を彩った人物が織り成した、重層的な歴史文化—小田原を舞台とした歴史群像—**  
豊かな自然環境、東西交流の結節点という場、そして温暖な気候に恵まれた市域には、北条氏をはじめとした戦国大名、政財界人や文化人など多くの人々が居住、来訪しました。こうした人々の存在と活躍がつくった歴史があります。
- 4 日々の人々の生活により育まれた、今につながる歴史文化—人々のくらしと産業—**  
山野河海を持つ市域では、豊かな自然を生かしたなりわいが営まれてきました。宿場町でもあった城下町には数多くの職人や商人が集住し、水産加工品や漆器など小田原を代表する多くの伝統産業が生み出されました。

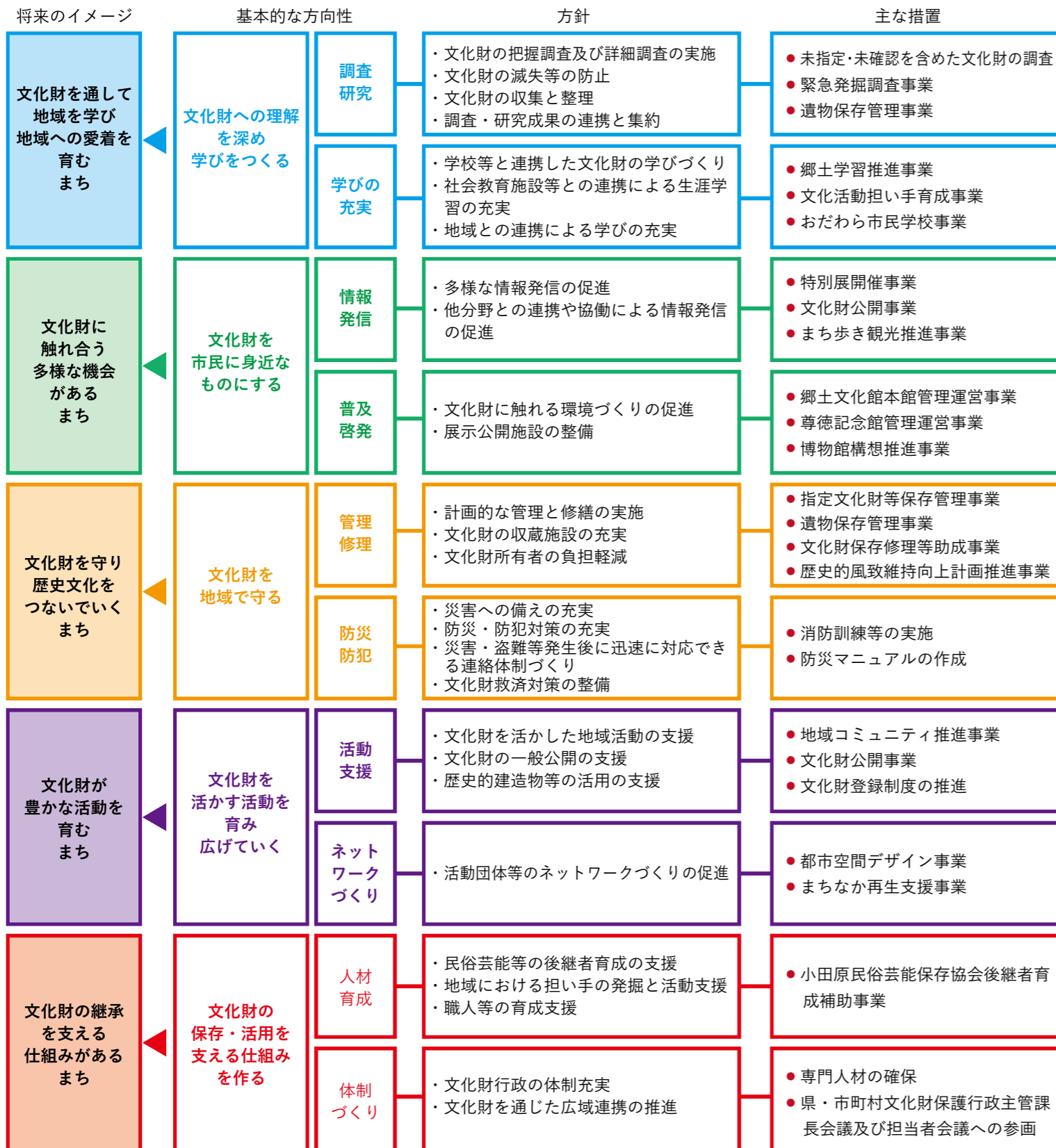


目指す将来像

先人が築いた歴史とともに暮らすまち  
暮らしを通してその歴史を未来へつなげていく

市民は、先人たちが築いた歴史とともに暮らし、それを楽しみ、豊かな時間を過ごすことができます。文化財を活かし触れ合う多様な機会を通して、歴史に触れ、その価値を意識することができます。市民一人ひとりが、暮らしを通じて歴史を感じ、育み、新たな価値を創造し、未来へつないでいくまちを目指します。

文化財の保存・活用 将来像の実現に向けて取り組んでいきます



関連文化財群

多種多様な文化財を、歴史文化の特性にもとづくテーマに沿って一定のまとまり（群）として捉え、市民にとって分かりやすく、より具体的に取組を進めていきます。

1 箱根外輪山がつくる自然と文化

箱根外輪山の山々、足柄平野と中央を流れる酒匂川、相模湾などから形成される変化に富んだ地形をもち、森林資源による木の文化や溶岩・火山砕屑物に由来する石の文化が創り出されました。

- 措置
- 広域連携観光推進事業
  - 環境活動推進事業 など



江戸城石垣石丁場跡

2 足柄平野が育んだ原始古代からの暮らし

縄文時代の羽根尾貝塚、弥生時代中期に東日本最大級規模を誇った中里遺跡、古墳時代の県下有数の古墳群である久野古墳群、奈良時代の千代寺院跡など、原始から足柄平野での広域的な交流を通して発展した地域社会の様相を今に伝えます。

- 措置
- 埋蔵文化財センター設置の検討
  - 遺物保存管理事業 など



羽根尾貝塚の縄文時代前期出土品

3 曾我物語と鎌倉幕府ゆかりの地

源頼朝が平家方に敗れた石橋山合戦や、富士野の巻狩りで決行された曾我兄弟の仇討ちは、浮世絵・浄瑠璃・歌舞伎などで広く知られ、市域にもゆかりの史跡が残されており、鎌倉時代の出来事を今に伝えます。

- 措置
- まちあるきツアー・イベントの開催
  - 観光PR事業 など



宗我神社

4 北条氏による統治と戦国時代の終わりを告げた小田原合戦

北条氏は小田原城を本拠に城下町の整備を進め、関東における政治、経済、産業、文化の中心として繁栄しました。小田原合戦に敗れ北条氏は滅亡しましたが、延長9kmにおよぶ総構や豊臣秀吉が築城した石垣山は、戦国時代の姿を今に伝えます。

- 措置
- 城址公園管理運営事業
  - まち歩き観光推進事業 など



小田原城跡 小峯御鐘ノ台大堀切東堀

5 近世小田原城と城下町・宿場町

小田原合戦後、要衝であった小田原城には、主に大久保氏をはじめとする譜代大名が封ぜられました。江戸時代には城下町・宿場町として賑わいを見せ、関連する文化財も数多く残ります。

- 措置
- 景観形成修景事業
  - まちなか再生支援事業 など



済生堂薬局小西本店店舗

6 二宮尊徳と報徳仕法

旧栢山村の中流農家に生まれた二宮尊徳は、生涯を通して飢饉等で荒廃した農村の復興に力を注ぎました。その手法は「報徳仕法」と呼ばれ、後継者により全国に広まり、仕法の基礎となる思想は地域住民等により現在まで継承されています。

- 措置
- 尊徳学習・顕彰事業
  - 報徳小学校の田植え実施 など



二宮尊徳生家

7 近代化がもたらした別邸文化と文化人ゆかりの地

明治20年(1887)の国府津駅への鉄道延伸を契機に、小田原は保養地・別荘地として注目を集め、政治家・軍人・実業家が次々と別邸を構え、あるいは居住しました。別邸文化を伝える建造物や庭園が今も残ります。

- 措置
- 歴史的建造物整備活用事業
  - 文化財公開事業 など



皆春荘

8 地域に根付いたなりわいと多彩な民俗文化

温暖で穏やかな気候と豊富な水を生かした農業、相模湾の海の幸を生かした漁業、豊富な森林資源を生かした林業などの産業が今も行われ、伝統工芸や名産品も継承されています。また、文化の交流により根付いた民俗芸能も伝えられています。

- 措置
- 伝統的工芸品産業産地組合助成事業
  - 文化財保存修理等助成事業 など



相模人形芝居

文化財保存活用区域

文化財が特定の区域に集中しており、その周辺環境を含め、それらの文化財の集まりを核として、文化的な空間を創出するため計画的に設定します。

1 小田原城周辺区域

小田原城とその城下では、人々の暮らしの中から様々な産業や名産品が生み出され、信仰に始まる風習が有形・無形の文化財となり現在に伝わっています。近代以降は、多くの別邸が設けられました。

- 措置
- 史跡小田原城跡保存活用整備事業
  - まち歩き観光推進事業 など



小田原城跡 整備された近世城郭部分

2 石垣山・江戸城石垣石丁場跡周辺区域

小田原合戦の舞台である石垣山は、総石垣の城の姿がよく残り、江戸時代に設けられた江戸城石垣石丁場跡も手つかずの遺構が残っており、往時の姿を偲ぶことができます。

- 措置
- 史跡石垣山保全対策事業
  - 史跡江戸城石垣石丁場整備事業 など



江戸城石垣石丁場跡

